

21年度総会
豊口会長

同窓の絆、改めて認識

同窓会 だより 今後全員に配布

平成二十一年度同窓会通常総会は、八月十六日(日)午後二時から、県内外の会員百三十九名が出席、秋田市のシャインプラザ平安閣で開かれた。司会は小国輝也氏(昭和五十七年卒)

校歌を五番まで斉唱の後、物故会員に全員で黙祷。

◎豊口祐一会長あいさつ

昨年会長に就任して以来、県内外のほとんどの支部総会に出席、同窓会員と交流を深めてきた。そこで改めて感じたことは同窓の絆の重要なことである。会長に就任した時、私の使命は、同窓会活動を活性化させることだ、と言った。

各常置委員会に、それぞれの立場から同窓会活性化への提言をお願いし、六月の合同会議で一応のまとめを作った。その中には、すぐできることもあれば、もう少し検討を要することもあった。一つ一つ確実にできることからやって行こうと思っ

ている。総会。これまでお盆前後に開いてきていた。新年度は四月に始まることから考えると遅すぎる。総会の在り方や出席者の意向を考慮に入れ、開催日時の変更を検討している。

同窓会は、平成七年度から会

員全員に年会費二千元を出していただいで運営する方式に変わった。今年度も約千二百万円納入され、予算を組むには十分だ。しかし若年次の会員は年々減っている。将来を考え、財政的にもう少し基盤をかためておく必要がある。

支出の中で一番大きいものは「だより」の発行だが、会費未納者にも送るのは、いかなるものか、という意見もある。しかし、会員をつなぐ大きな役割を果たしている。会の会計基盤が間に合っている間は「だより」を送り続けたい。

校舎の耐震工事は、小体育館、音楽室などの工事が終わり、大体育館は骨格ができて上がっている。

現在、各学年八クラス、九百三十七人が在籍している。男子五百六十一人、女子三百七十六人。女子が約四割ということ。最近では推移している。

二年次から理、文系コースに分けているが、二、三年生とも文系三、理系(理数科含む)五クラス。本校では理系への関心が高い。

今春の進路状況は、三百九人の卒業生のうち国公立大百五十九名、私立大五十六名などとなっている。東京大学に現役、過年度を含め七名が入った。このうち、理系の最難関といわれる理Ⅲに三十六年ぶりに二名合格。

秋田大学医学部にも現役十三名、過年度十二名で、昭和四十五年同医学部が開設されて以来最高を記録した。

部活動では、運動部への加入は四十五〜五十%で、大きな変化はない。全県総体で陸上競技部男子が、五十一年ぶりに総合優勝。山岳、男子テニス、バドミントンなどがインターハイに出場した。



次に、本校が生徒の知的好奇心を喚起させるための主な取り組みを三つ紹介する。

第一は、生徒に知識とか技能を与えられるだけでなく、社会に出てから必要

と思われる問題発見能力、理解力、解決能力、表現力をさらに身につけてもらう目的で、「知の探求コンテスト」を行っている。最優秀作品には、元東京大学総長の佐々木毅氏が、直接トロフィーを授与した。

二つめは、県の事業でもあるが、二年生十二名を京都の堀川高校に派遣、授業などを通じ、知的な体験をさせた。

◎報告

仙波昭彦事務局長から資料に基づいて会務報告が行われ、次いで常置委員会報告では企画・佐々木博良、財務・速水洋子、名簿・工藤雄一、広報・高島清子の各委員長からそれぞれに関する事項の報告がなされた。

最初に平成二十年度収支決算について事務局長が説明、小玉監事が監査報告し、審議承認された。次いで平成二十一年度事業計画・収支予算(案)が提案され、これも審議承認された。

総会終了後、記念講演、懇親会が和やかに行われた。

懇親会が和やかに行われた。

おかげさまで、パイロンも41年の時を刻むことができました

BAR・パイロン

田原重昭 (昭和38年卒)

秋田・横町通り ホワイトビル2F ☎(862)7880

70年の実績と信頼

中央土建株式会社

代表取締役 伊藤 久一 (昭和38年卒)

〒010-0803 秋田市外旭川八柳一丁目13番31号
TEL 018-868-3322 FAX 018-868-3324

The Art of Beauty

KOMABA

取締役専務 駒場 幸一 (昭和37年卒)

秋田市通町 018・862・6788

医療法人 萌養会

たかはし内科 (循環器科) 医院

医師 高橋 良一 (昭和37年卒)

大仙市大曲福住町9-23 (羽後バスターミナル近く)
TEL 0187-63-5115